

岐阜県の

プラスチック

岐阜県プラスチック工業組合会報

第45号

第7回プラスチック産業展

3委員会を設けて準備を開始

技能検定合格者48%の好成績

県発明くふう展に工組が出品

工組の共同利用と共同購買事業

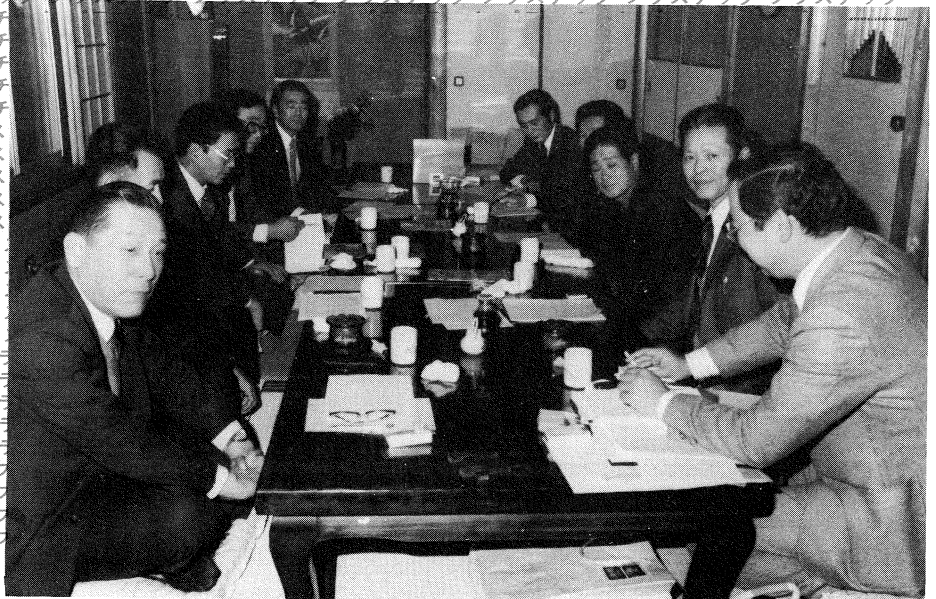
全国業界ニユース

デザインのすすめ

組合員の工場訪問(清水樹脂)

事務局だよ!

県下八ヶ岳に
分けて開催して
大垣支部会
活動



3 委員会を設け準備開始

第7回岐阜県プラスチック産業展

開催要綱を決め、参加協力求む

来年9月に『第7回岐阜県プラスチック産業展』の開催を決めた当工業組合は、このほど準備委員会（会長＝大松幸栄理事長、準備委員長＝武藤昭三副理事長）を発足させ、開催準備に着手した。具体的には企画委員会、組織委員会、渉外委員会の各専門委員会で作業を進め、組合員はもとより、県内外のプラスチック関係者に参加と協力を呼びかける。

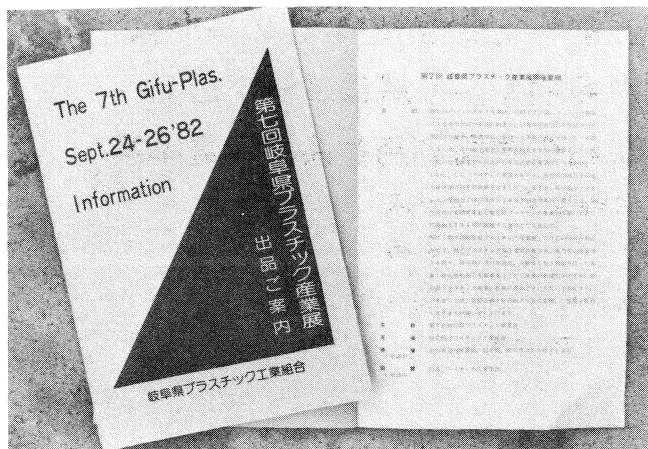
群馬と名古屋を視察

岐阜県のプラスチック業界が15年ぶりに開催する産業見本市の準備は、企画委員会、渉外委員会、組織委員会の3つの専門委員会を軸にしてすべり出した。

企画委員会（田中弘一委員長、奥村勝副委員長）は8委員で構成主として計画、予算、宣伝などを担当するが、すでに開催要綱や出品案内書を作成している。企画立案に当たっては、名古屋市吹上ホールで開かれた日刊工業新聞社主催の中部プラスチック産業展、また、群馬県プラスチック工組が開催したプラスチック見本市を視察、開催方法や会場構成、出品募集要領などを参考にし、開催要綱を練りあげた。

出品案内書を全国へ郵送する

渉外委員会（大野繁俊委員長、児玉庄一副委員長）は5委員で構成、企画委員会が作成した産業展開催要綱をもとに具体的な出品依頼や募集を展開していく。すでに出品案内書について



開催要綱を印刷した出品案内書ができ、全国へ郵送した

は三菱化成工業はじめ全国のプラスチック成形機、周辺機器、原材料関係商社・メーカー二百余社へ郵送したところ。続いて主力企業に対しては個別に訪問し、参加と協力を要請する方針である。

8ブロックに分けて組合員増強

組織委員会（日比正隆委員長、納土栄一郎副委員長）は、産業見本市開催という絶好の機会をとらえ、組合員の増強と県内展示コーナーへの出品参加を呼びかけていく。

現在、実施中の活路開拓調査事業による県内

プラスチック関係業者は566業者もあることが明らかになっている。ところが工組組合員は106業者であるから、その加入率は5分の1にも満たない。566業者のうち約半数は従業員がいない家内工業ではあるが、せめて中小企業団体組織法に示された半数にあたる300組合員の獲得が望まれる。

組織強化の具体策は、岐阜県下の産地を岐阜北、岐阜南、大垣、各務原、関、美濃・武芸、美山、奥美濃、美濃加茂の8ブロックに分けて拡大をはかっていく。

すでに、さる10月28日の岐阜北、11月7日には岐阜北と大垣、さらに14日には各務

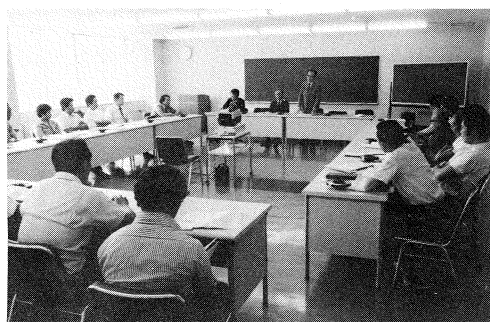
原、27日には大垣というように各ブロックでは順次、組織拡大への会合を開催している。これらの会合では①組合員加入推進の具体的方法②工組活動のあり方③産業見本市への参加についてなどを議題に懇談した。とくに大垣市と各務原市では、アウトサイダーを含めて特別講習会を開くなどこれからのプラスチック加工業はどうすればよいかについて熱心に討論した。

こうした岐阜県下のプラスチック産地は、15年ぶりに実現する『岐阜県プラスチック産業展』の開催準備を機会に、かつてない盛り上がりを見せている。

中津川の業者と初懇談

大松理事長もかけつけ挨拶

当工業組合は9月24日、中津川市商工会議所で中津川地方のプラスチック加工業者と初めて懇談(写真)した。東濃地方の組合員は皆無であることから、かねて懇談会を開き、コミュニケーションをはかることが企画されていたもので、とくに大松理事長もかけつけあいさつした。地元業界の出席者は三菱電機・菱風会の会



員ら約25人で①工組加入と組合事業②中津川地方業者の販路開拓—などについて話合った。



三菱射出成形機 MFシリーズ

350MF・450MF・550MF・650MF・850MF

三菱重工業株式会社

本社産業機械第一部 東京都千代田区丸の内2-5-1 ☎東京(03)212-3111

名古屋営業所 産業機械一課 名古屋市中村区名駅3-28-12(大名古屋ビル9階) ☎(052)562-2176



技能検定合格者 一級1人、二級12人 48%の好成績

プラスチック射出成形の56年度技能検定合格者がこのほど決定した。合格者は一級1人、二級は12人で、受験者に対する合格率は48%となり、55年度の合格率33%に比べてかなりの好成績であった。

このうち2級技能士の実技試験を受けた人は19人で13人が合格（合格率68%）また、

学科試験を受けた人は16人でうち5人が合格（同31%）であった。今年度は学科が悪く、実技が非常に良い成績で、近年にない48%の成績をあげることができた。

なお、工組では12月に、新技能士を招いて検定合格証書と技能士章、バッジなどの授与式を行う。

業界の意欲をPR 県発明くふう展に出品

岐阜県発明くふう展が10月2日から4日間岐阜市金町5の岐阜市民センターで開かれた。第1部の一般の部に出品した岐阜プラスチック工業（真空成形品の打抜きカッター装置）は名古屋通商産業局長賞、また、天龍工業（太陽熱利用温水器）は瑞浪市長賞を受賞した。

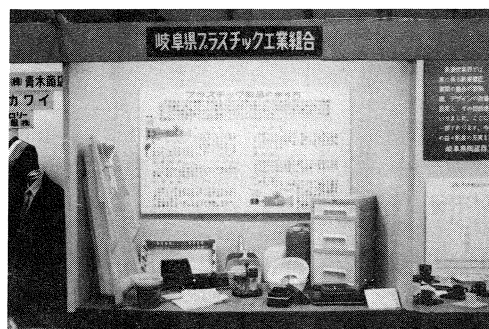
一方、岐阜県プラスチック工業組合理事長賞は、フロントガラスの凍結防止カバーなど4点を出品した恵那市観音寺の伊藤幸三氏に贈った。

なお、当工業組合は県内の木工、食品、刃物、紙、陶磁器、既製服など7大産業の一つとしてコマ出品し、写真のようにプラスチック業界の意欲をPRした。

大松理事長に藍綬褒章 産業振興についての功績で

当工業組合の大松幸栄理事長は、このほど藍綬褒章を受章した。

大松さんは岐阜プラスチック工業の社長として会社を経営するかたわら、工組理事長はもとより、日本プラスチック日用品工業組合理事長



全日本プラスチック成形工業連合会名誉会長（前会長）など全国業界のリーダーとして、さらに中部経済同友会の代表幹事として財界活動も行い、産業振興に果たす功績が認められたものである。

三甲が創立30周年式典 盛大に記念表彰や講演など

大型射出成形品専門メーカーの三甲（本社本巣郡穂積町本田、後藤甲子男社長）は、さる9月18日、岐阜グランドホテルで『創立30周年記念式典』と『記念謝恩会』を開いた。

同社は昭和26年12月に三甲紡績有限公司として創立、ことしで30周年を迎えたもので式典には上松岐阜県知事はじめ来賓約400人と社員ら約450人が参加、記念表彰、記念講演、アトラクションなどが盛大に行われた。

静電フィルター式浄油機

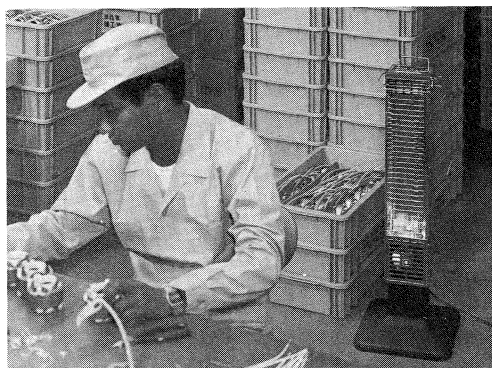
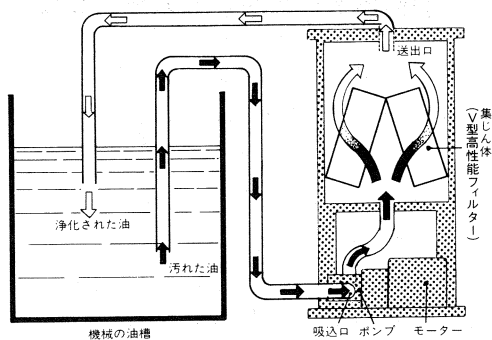
共同利用と共同購買

スポット電気暖房器

工組は新しく「浄油機の共同利用」と「スポット電気暖房器の共同購買」を行う。

浄油機の共同利用は、現在全組員を対象に実施しているアンケート調査結果をまわって機種や台数を決定する予定。計画している浄油機は「静電フィルター式・ナショナル浄油機」で①浄油能力が高い②取り扱いが簡単③運転コストが低いで、組員企業の射出成形機などの油を浄化する新しいタイプの浄油装置。とくに機械を故障させる酸化物（スラッジ）を除去、油の長寿命化と再利用に役立つという。浄油原理は図のとおりで、工組ではアンケート結果をまわって機種の選定（浄油能力は0.1ミクロンのゴミまで除去。NASの4.7級）や利用料金などについて決定する。写真上は浄油機の機構図。

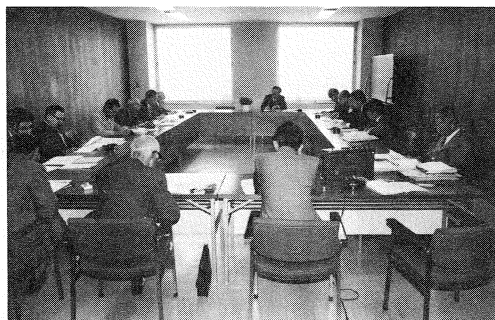
また、スポット暖房機の共同購入は、ナショナル製の業務用ウォータファンヒーターで、200ボルトと100ボルトの2機種。特徴は必要な時、必要な場所だけを暖める電力ファンヒーターで、そのほか①縦形石英管新ヒーターを採用②場所をとらず移動が簡単③転倒安全スイッチ付き④人の身体に合わせた縦形で、しかもファンで上部へ逃げる熱を前方へ送りムダがな



いなど。事務所、受付、工場などに最適。

工組の販売価格は200ボルト1,500ワット、暖房能力1,260キロカロリーが22,500円（市販価格は32,500円）100ボルト、800ワット、暖房能力660キロカロリーが18,000円（市販価格は18,800円）で、希望は工組事務局まで。

写真下はスポット暖房器で作業中のところ。



活路開拓第2回委員会を開く

活路開拓調査事業は9月28日、岐阜産業会館会議室で第2回委員会（写真左）を開くなど本格的な調査研究に入った。今回は事務局がかねて調査を進めてきた実態調査がほぼ終了、関谷裕彦委員（岐阜県工業技術センター高分子科長）から中間的な分析結果の報告があった。

全国業界ニュース

◎射出成形できる耐熱性磁器◎

日本高圧電気(本社名古屋市中区浜中町、電話052-611-0181)は、インジェクション成形もできる耐熱500度Cという精密磁器『タフライト』を開発、市販した。

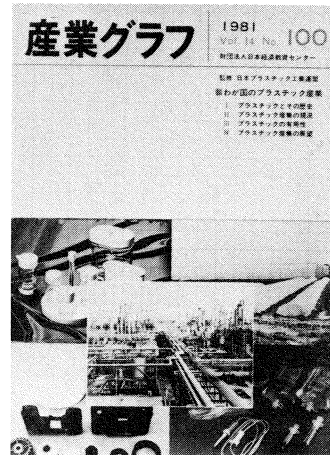
このタフライトはケイ砂と粘土を主成分とし特殊な結合剤と融剤を加えて2時間程度の短時間で低温焼成(650度C)して製品化するもので、合成樹脂に耐熱性を加えた新材料である。その他の特色は①燃えない絶縁物②ヒートショックに強い③着色が自由④寸法精度が高い⑤価格が安いなどで機械的にも電気的にも一般磁器と同程度という。最大の特色は成形性で、合成樹脂と同様に射出成形できること。

◎塩ビ17社4グループで共販◎

構造不況に陥っている塩化ビニール樹脂業界で、構造改善の一環として17社を4グループ化し、それぞれ共同販売会社を設立する動きが具体化した。構造改善策を協議してきた塩化ビニール工業協会の高橋博会長(呉羽化学工業社長)が、主要9社の社長会で会長案として提示、了承を得たもので、その4グループは「三菱系」「三井系」「興銀系」「その他」に分かれて新会社を設立する構想。

主要各社はグループ結成に向けて個別企業間の折衝に入り、11月中にもメドをつけたいという。

◎教育資料産業グラフに紹介◎



財団法人・日本経済教育センターは、このほど学校教育用の資料として『産業グラフ・わが国のプラスチック産業』を発売(写真)して、全国に

配布した。同教育センターの産業グラフは、写真、グラフ、図形などを多数使用し、理解しやすくしたのが特徴。すでにわが国の時計産業、わが国のロボット産業、わが国の事務機械産業など数多く、好評を得ている。

こんど発売されたわが国のプラスチック産業は、B5判14頁で、プラスチックの歴史から産業界の現況、有用性、将来展望にいたるまで判り易く紹介されている。そして最後に『プラスチックは石油を出発原料としながらも、実際には産業や国民生活の省資源・省エネルギー化



秋元産業株式会社

本社 東京都中央区八重洲5の7
名古屋営業所 名古屋市中村区米屋町2(埼玉ビル9F)
TEL <052> 582-5071

に大きく貢献している』と、また『一方では石油を原料としないプラスチックの開発が進み、ますます社会に役立つことが期待されるだろう』と話を結んでいる。

◎設備耐用年数の短縮を要望◎

プラスチック成形加工業界は、このほど通商産業局基礎産業局へ『合成樹脂成形加工または合成樹脂製品加工工業用設備の耐用年数を、現行の8年から6年に短縮するよう』に要望した。プラスチックの成形加工設備は進歩がめざましく①成形のスピード化②精密化③大型化④完全自動化⑤操作の安全化⑥省エネ化など技術革新による機械設備の陳腐化が問題となり、耐用年数の短縮要望となった。また、逆に中進諸国の追い上げもあって業界の整備が必要という。

◎日米欧3国がPL基準統一◎

米国プラスチック工業連盟、欧州樹脂連盟、日本プラスチック工業連盟の3団体は、それぞれで独自に設定しているプラスチック製食品包装材の安全基準であるPL基準(ポジティブリスト)を統一することになった。

これは9月に英国のバーミンガム市で開催された『第2回日米欧プラスチック会議』で基本的合意がえられたもの。これを受けて3団体は

近く同会議の下部機構である食品安全分科会のメンバーで構成している専門家会議を開いて、具体的なPL基準の統一原案作成作業計画を検討する。

◎プラゴムマグネット懇設立◎

日立金属、大日本インキ化学などプラスチックマグネット関連企業10社は『プラスチック・ゴムマグネット懇話会』を設立した。プラスチックマグネットの需要が拡大していることに対応し、マグネット業界の健全な発展をはかろうとするもの。近年の需要は、世界的な電子関連産業の発展にともなって年率20%以上の伸びを続けている。

これはプラスチックマグネットが従来の焼結磁石の欠点をカバーするすぐれた性質をもって新しい磁性材料としてユーザーから評価されているためとみられる。

◎プラ生産は昨年同期比で減◎

プラスチック材料および製品の昭和56年上期(1-6月)の全国生産量がまとまった。材料は合計855万7千トンで、前年同期比約15%減、昨年の下期と比べると7%増。製品は186万5千トンで前年同期比11.5%減、前期比2.3%増であった。

TOSHIBA

東芝機械株式会社

本社 東京都中央区銀座4丁目2-11

名古屋営業所 名古屋市中村区名駅4丁目7番23号

化工機課 TEL <052> 561-8341

デザインのすすめ
岐阜県プラスチックデザイン協会

デザイン評価①

デザインが商品開発の重要なカギであり、それをいかにデザインすべきであるかについてもこれまで考えて来ました。

しかし、その結果としての正しい《デザイン》がなされたか否かについては、漠然と「デザインが良かった」とするか「売れた」事実を何より優先させるか、いずれにせよ主観的、断片的すぎる評価に終わってしまう。むしろ、これら評価についての具体的検証を避けてきたと言っても良いぐらいである。

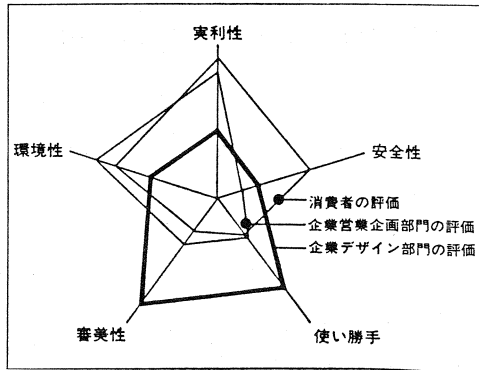
こうした、評価に対する問題もここ数年クローズアップされはじめ、デザインを作る側と使う側の接点に求めようとする動きも活発化している。

その一つに、「消費者のためのデザイン評価基準調査報告」（財・日本産業デザイン振興会）というものがあるが、まだ実験的模索段階で実用化にはほど遠いものがある。これらの問題を中小企業として正面からとり組むには、あまり

にも問題は大きすぎるが、製品開発の姿勢として、メーカーサイド、セールスサイドといった作り手側の一方的なデザイン開発に終始するのではなく、その一方で、デザインを消費者の問題として特別な意味を持たせ、息の長い良い商品を両方で育てていくよう努めるべきである。

なぜなら、デザイン評価は、デザインの専門家が行ない常に改良するのではなく、最終的にはそれを購入し使用する消費者自身であり、対象とされる消費者のデザインに対する認識が高いか否かが問われるからである。

5つの基本尺度による消費者とメーカー側の評価差異
(冷蔵庫に関する相方の評価を尺度化したものである。)



(岐阜県工業技術センター 工業デザイン室)

三菱化成のエンジニアリング プラスチックス

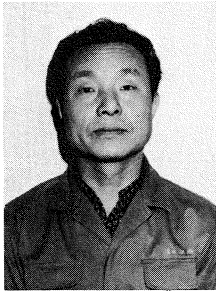
ナイロン樹脂 **NOVAMID** (ノバミッド)
 ポリカーボネート樹脂 **NOVAREX**® (ノバレックス)
 PBT樹脂 **NOVADUR** (ノバドール)

中低圧ポリエチレン **NOVATEC**
 高圧ポリエチレン **NOVATEC-L**

三菱化成工業株式会社
 本社：東京都千代田区丸の内2-5-2・三菱ビル
 電話 03(283)6111(大代表) (〒100)

美しく精度の高い製品を作る

清水樹脂



清水昭市さん

組合員の工場訪問は、美濃市乙狩にある清水樹脂（資本金300万円、従業員6人、清水昭市代表取締役）を訪ねた。この乙狩は、美濃市の中でも洞戸に近い最北部の部落で、晩秋の山波を縫うように一帯を流れる板取川は、とても印象的であった。

その川沿いに清水さんの工場がある。創業したのは昭和44年4月。清水さんは、当時の新鋭インジェクション・日精のHS500（20オンス）を購入、岐阜プラスチック工業から塩ビの継ぎ手を受注し、成形開始した。

和紙→研磨→プラスチックへ

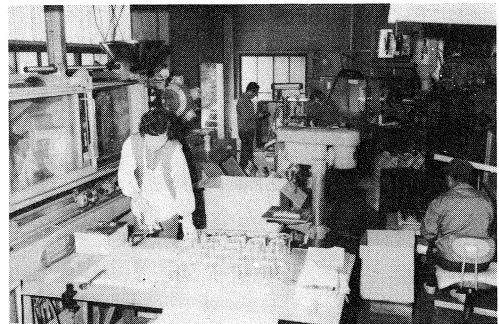
清水さんがこのプラスチックの成形加工を開始するまでには苦難の道があった。代々の家業であった手すき和紙づくりを廃業、ステンレスの食器や流し台の研磨工場を経営したが、立地条件や製品の輸送などの面から採算が合わず、ずいぶん苦勞したという。たまたま、付加価値の高い加工産業はないのかと検討していたとき、親戚関係の紹介でプラスチックの成形加工と取り組むことになった。

いらい岐栄会のメンバーとして、オートバイ部品から金魚鉢、ザル、バケツのフタなどを順次生産。12年後の現在では岐阜プラスチック工業の有力下請工場に成長、現在はアクリル樹

脂を使ったピッチャーなど各種のテーブルウェアなど美しく精度の高い製品の生産に力を発揮している。

親子孫の3代が働く家内工業

工場は原材料置場と成形工場の2棟（合計300平方メートル）に分かれ、成形工場内には日精のFSタイプ20オンスとはやぶさHSタイプの10オンスと12オンスの3台が稼働する。従業員は6人であるが、うち3人は、清水さんの父親・金治郎さん（77歳）と清水さんの息子・哲君（24歳）の親子孫の3代で働く珍しい工場である。理想的な家内工業である。



この山間地の多い美濃市は、近年、小規模企業ながら工業化が進み、とくにプラスチック成形工業者が急速に増えている。工業技術センターの調べでは美濃市と武芸川町で96業者にものぼっている。

このため美濃市の業界団体である市金属協議会内部にある樹脂部会の発言権は高まり、部長だった清水さんは、現在、協議会副会長に推されて活躍している。清水さんはこれを機会に『プラスチック業界の横のつながりをつけたい』と話している。（写真は清水樹脂の成形工場）

事務局だより

会員と事務局を結ぶページ

□ 工組組合員の増強にご協力下さい □

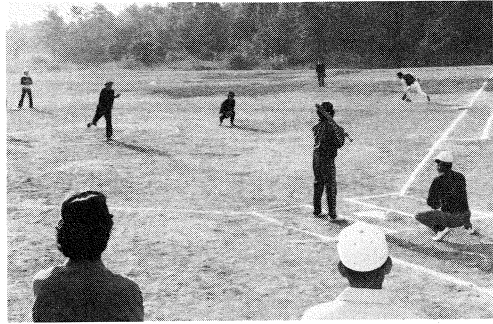
会報のトップ記事でも紹介しましたように全県下を8ブロックに分けて地域懇談会や特別講習会を開催しております。とくに特別講習会は会員の方々はもとよりアウトサイダーの方々に数多く参加していただき『プラスチック加工業はこれからどうしたらよいか—下請加工業の発展の可能性をさぐる』をテーマに開催し、各地とも熱心な参加をえております。こんご開催するブロックの会員は、アウトサイダーの企業者をお誘いのうえ、ぜひご参加、大いに意見交換をして下さい。

こうした地域懇談会や特別講習会開催の目的の第1は工組組合員の会員増強にあります。現在、会員は106会員ですが、近い将来(プラスチック産業展を開催する来年9月までに)には300会員達成をめざしております。

□ 新春の1月に懇親会を開催します □

いよいよ師走です。今年忘年会をやめ新年懇親会を新春1月に企画しております。12月理事会で日程が決まり次第、ご案内さしあげますので、ぜひご出席下さい。

□ 岐阜県がソフトボール大会を開く □



岐阜プラスチック協同組合(西垣隆夫理事長)は11月5日、各務原運動公園で恒例のソフトボール大会を開いた。出場チームは会員や会員企業の従業員で編成した8チームで、早朝8時に全員集合、準備体操のあとプレーボール。とくに開始にあたっては、岐阜プラスチック工業の大坪生産本部長が始球式を行い(写真)西垣理事長が見事にキャッチ、参加者の拍手を浴びた。

岐阜県のプラスチック 1981 45号

昭和56年11月1日発行

発行 岐阜市六条南2丁目11番1号

(岐阜産業会館4階)

電話(0582)72-7173

岐阜県プラスチック工業組合

発行責任者 大松幸栄

出光

の石油化学製品

◎取扱品目 中低圧ポリエチレン
ポリスチレン ポリプロピレン
高圧ポリエチレン カルプ®
ポリカーボネート



出光石油化学株式会社

東京都千代田区丸の内3-1-1(国際ビル) 〒100 ☎ 03-213-3111
名古屋営業所 名古屋市中区錦1-17-13(名興ビル) 〒460 ☎ 052-231-8611

三菱油化株式会社

取締役社長 吉田正樹

本社 〒100 東京都千代田区丸の内2丁目5番2号(三菱ビル)
TEL (03) 283-5689(代)
名古屋支店 〒450 名古屋市中村区名駅3-28-12(大名古屋ビル5階)
TEL (052) 563-5641(代)

ポリエチレン

スミカセン®

エチレン酢酸ビニル共重合樹脂

エバテート®

ポリプロピレン

住友ノーブレン®

ポリスチレン樹脂

エスブライト

塩化ビニル樹脂

スミリット®

メタアクリルシート

スミペックス®

メタアクリル樹脂

スミペックス-B®

高密度ポリエチレン

スミカセンハード

熱可塑性エラストマー

住友®TPE

合成ゴムSBR

住友®SBR

合成ゴムEPR

エスプレン®

エチレン酢酸ビニル

塩化ビニル共重合樹脂

スミグラフト®



住友化学工業株式会社

名古屋支店 〒460 名古屋市中区錦1丁目11番18号(興銀ビル)
電話 <052> 201-7571

徳山ポリプロ

徳山OPフィルム

ポリプロピレン二軸延伸フィルム



徳山曹達株式會社

名古屋営業所

名古屋市中村区名駅四丁目27番23号(新名古屋ビル東館5階)
電話(052)581-1581(代)



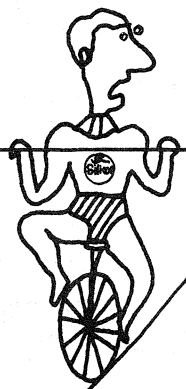
ニーズに**適確に**
こたえることで
未来の扉をひらきます

産業や生活のあらゆる分野で、便利さや快適さを生みだしているプラスチック。このすぐれた特性をコントロールして、繁栄のためによりよく活用しなければなりません。信越ポリマーはプラスチックを主な素材として、各種の製品を多角的に開発、生産、販売しています。一方、これらの製造や流通のプロセスにあたって、安全や環境の保全にも十分配慮し、時代と社会のニーズにこたえる新しい価値づくりを進めています。

新しい素材を価値あるものに

信越ポリマー

名古屋支店 名古屋市中村区名駅4丁目27番23号 (新名古屋ビル)



信越シリコーンなら

では、**離れ技**。

**信越シリコーン
離型剤**

プラスチックの離型に最適な離型剤をご紹介します。

信越シリコーン離型剤。熱に強く、化学的に不活性ですから、型や成形材料を汚したり、傷めたりする心配がありません。不良品の発生を防ぐばかりか、清掃などの労力が軽減できますので、作業能率も一段と向上します。

〈特長〉

- 少量の塗布ですぐれた離型性。
- 耐熱性、撥水性にすぐれています。
- 化学的に不活性ですので、型を侵しません。
- 複雑な型にも使えます。
- 品種が豊富です。



信越シリコーン

信越化学 / 名古屋支店
名古屋市中村区名駅4-27-23(新名古屋ビル東館)
TEL(052) 581-6511(代)

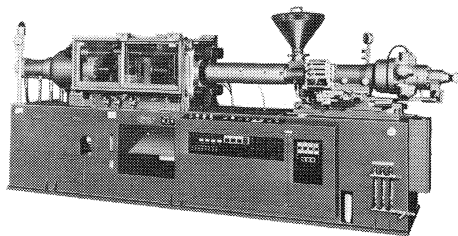


●80年代テーマ

時代を「射る」

高速精密汎用射出成形機 SEシリーズ

「高附加価値成形」と「省エネルギー」の両機能を兼ね備えた80年代の射出成形機です。省電力対応型の電子コントローラによって、射出・型締および油圧など各機構をデジタル制御。とりわけ油圧機構には新機軸の油圧回路SSEシステムにより、油圧の動力損失を最小限に抑えて、消費電力を大幅に減少させました。省電力効果は40～70%（製品により異なる）と極限を追求したものです。



NISSEI 1歩進んだ射出成形機をおとどける
日精樹脂工業株式会社

本社・工場・長野 岡 坂 城 町 電話 (02688) 2-3000 (大代表)
営業所 東京 ☎ 03-357-7541 (代表) 大阪 ☎ (06) 693-7881 (代表)
名古屋 ☎ 052-732-0261 (代表) 長野 ☎ 02688) 2-3000 (代表)
出張所 全国27ヶ所 海外サ-ビスステ-ション24ヶ所 (21ヶ国)
岐阜出張所 岐阜市茜部4962-1 (茜ビル) ☎ (0582) 72-5952



伊藤忠商事株式会社

名古屋支社 エネルギー化学品部合成樹脂課

名古屋市中区錦一丁目5番11号
〒460-91 名古屋中郵便局私書箱10号
電話 (052) 203-2481~2488

染料 }
工業薬品 } 販売
合成樹脂 }

山田化成株式会社

取締役社長 山田正水

本社 〒101 東京都千代田区内神田2丁目8番4号
TEL (03) 256-7861(代)
名古屋出張所 〒460 名古屋市中区丸の内3丁目13番18号(サワニビル)
TEL (052) 961-6591(代)

UL・94-V0 認定材料

自己消火性樹脂

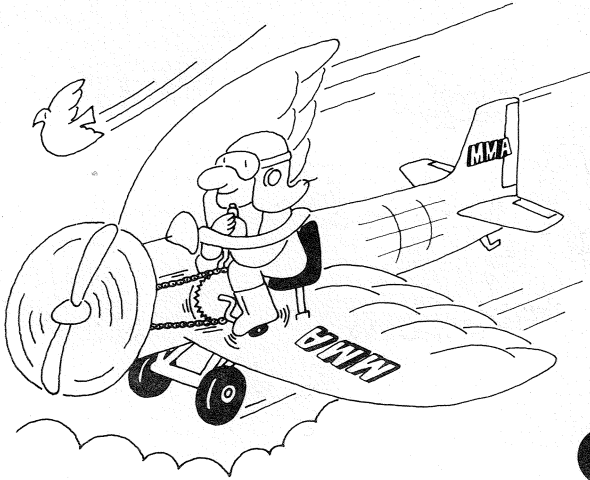
JSR NF94
JSR NC100

日本合成ゴム株式会社 本社/東京都中央区築地2-11-24 TEL.(03)541-4111・名古屋支店/TEL.(052)571-1231

ゆたかな生活環境をクリエイト

発見と発明

MMA部門を中心として、時代のニーズに合った
発見と発明を…



“発見”されたモノを日常生活に使用できるように研究開発することが“発明”です。人類にとって新しく“発見”されたエネルギー“天然ガス”を原料に「高品質素材の総合開発」をテーマに、“発明”を続ける協和ガス化学工業。メタクリル一貫生産メーカーとして、常に“より良いもの”を求め続けています。

メタクリル樹脂・注型板

パラグラス®

メタクリル樹脂・押出板

ゴモグラス

メタクリル樹脂・成形材料

パラペット®



協和ガス化学工業株式会社

本社 〒103 東京都中央区11本橋3-8-2新日本橋ビル ☎(03)277-3174
大阪事務所 ☎(06)345-3901 / 名古屋営業所 ☎(052)951-6396
福岡営業所 ☎(092)711-1530 / 仙台営業所 ☎(022)266-1525



生きてる素材。

三菱レイヨンのプラスチック

メタクリル樹脂／板状品

アクリライト®

メタクリル樹脂／射出成形材料

アクリペット®

ABS樹脂

ダイヤペット® **ABS**



三菱レイヨン

東京(272)4321 / 大阪(202)2241 / 名古屋(561)6711



リスのプラスチック



今、新しい テーブルウェアの たび だち 出発。

ノーブル(英語)とは“高貴”という意味、その名にふさわしいテーブルウェアとして、リスの一貫したデザインポリシーから生まれたメタクリル樹脂の最高級品です。

Noble
ノーブル

岐阜プラスチック工業株式会社

本社 岐阜市神田町9丁目25(大岐阜ビル6F) TEL<0582>65-2233(代)
稲羽工場 岐阜県各務原市前渡東町3620 TEL<0583>86-9311(代)
支店 東京・大阪・名古屋・福岡 営業所 高松・広島・仙台・札幌・宇都宮